

事業シート(令和2年度予算)

事業名	20940 東京事務所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約	・飛騨高山ブランドの大都市圏や海外への販路開拓を強化するとともに、どこにいても飛騨高山ブランド商品が購入できるeコマース(ネット通販、ネットショップ、インターネット通販など)の仕組みを構築します。 ・市役所及び関連機関が主体(企画・運営)となって、飛騨高山ブランドをPRする展示会などを大都市圏で開催します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略			
			項	1	総務管理費	根拠計画				
			目	9	企画費					
担当課	企画部	ブランド戦略課	内線	2278						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏における日常的な活動拠点の確保、情報収集・発信機能の強化 ・国内外での地場産品の販路拡大、飛騨高山ブランドの強化 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・東京事務所を設置し、府省や関係団体等との連絡調整を行うほか、情報収集及びシティセールスその他の市政推進に資する活動を行う
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総会計画等	主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		9,254	6,876	9,074			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(職員派遣事業雑入)		168				
一般財源		9,254	6,708	9,074			
個票枝番	主な事業内容						
	運営費	5,054	2,676	4,874			
	政策顧問の設置	4,200	4,200	4,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		9,070
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減(d)-(c)	
8,877	9,070	9,070	△ 4	
8,877	9,070	9,070	△ 4	
査定額	説明			
4,870				
4,200				

※入札に影響するため公開に通さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進関係 イベントでの誘客PR(9回)、メディアでの情報発信(6件)、市内旅行事業者の首都圏活動支援など ・物販支援関係 シェフ等招へい(2件)、レストランフェア実施(1件)、販路開拓支援及び物販イベント支援(17件)など ・交流促進関係 大学ゼミ合宿誘致(2件)、サテライトオフィス誘致営業(2件)、移住相談、東京オリンピック・パラリンピックホストタウン交流推進、在京の飛騨地域出身者との人脈拡大など ・市担当課業務支援 各課の首都圏業務の支援(52件)、戦略派遣職員の業務支援など ・政策顧問 ブランド戦略・行政改革・地方創生等の重要政策推進に関する市長・関係部署等への指導や助言、人脈の仲介や情報収集など(延べ95回)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・東京事務所は、職員が東京に駐在することの時間的・場所的な優位性を生かし、市の様々な担当課と連携し主体的かつ機動的に各種営業を行うことで成果を上げるとともに、市担当課の首都圏業務の連絡調整窓口として幅広く機能している。 ・政策顧問は、高度な知見を生かして各種施策に適切な助言を行い、効果的な施策展開を促すとともに、豊富な人脈を生かして国・関係機関・民間との橋渡し役として各種調整を担っていただいている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・東京事務所の運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに
--------------	------------

事業シート(令和2年度予算)

事業名	21550 飛騨高山ブランド戦略推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・メイド・バイ飛騨高山認証制度を推進し、商品の付加価値を高めるとともに、新たな商品・製品を創出する試みを支援します。 ・飛騨高山ブランドの大都市圏や海外への販路開拓を強化するとともに、どこにいても飛騨高山ブランド商品が購入できるeコマース(ネット通販、ネットショップ、インターネット通販など)の仕組みを構築します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	1	総務管理費	根拠計画	飛騨高山ブランド戦略				
			目	15	ブランド戦略推進費						
担当課		内線									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・飛騨高山ブランドコンセプト「飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物 それが『飛騨高山ブランド』」に基づき、市内の事業者や団体等の飛騨高山ならではの商品やサービスのブランド化の取り組みを支援するとともに、飛騨高山の有する様々な魅力や価値を市民や事業者とともに再評価し、磨き上げることで、飛騨高山に対する誇りの醸成や地域経済と地場産業の活性化を図る。</p>	概要	<p>・飛騨高山ブランドコンセプトに基づいたインナーブランディングの推進 ・外部有識者を活用し、ブランド戦略およびメイド・バイ飛騨高山認証制度の運用 ・地域団体商標制度を活用したブランド展開事業または地域ブランド確立に向けた新商品開発・販路開拓事業等に対して補助金を交付</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等	主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		25,491	18,680	25,200		
特定財源	国費()					
	県費(販路開拓等事業費補助金 1/2 等)	2,000	2,700	2,000		
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	3,900	3,100	1,700		
一般財源		19,591	12,880	21,500		
個票枝番	主な事業内容					
	経済観光アドバイザー	1,650	938	1,650		
	飛騨高山ブランド戦略会議等	580	276	720		
◎ 1	インナーブランディングの推進	4,988	4,460	4,530		
	新商品開発、見本市出展等のブランド展開に対する支援	18,273	13,006	18,300		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		31,130
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減(d)-(c)	
31,130	30,630	31,130	5,930	
2,000	2,000	2,000	0	
	200	200	△ 1,500	
29,130	28,430	28,930	7,430	
査定額	説明			
1,980				
720				
12,630	デジタルアーカイブ事業(映像等記録作成)、ものづくり人材パンフレット作成			
15,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド戦略推進本部会議の開催 3回 ・飛騨高山ブランド戦略会議の開催 5回 ・ブランド確立計画に基づく見本市の出展事業及び新商品開発事業に対して支援(6件 4,706千円) ・地場産業の販路開拓に対する支援(2件 8,300千円) ・地域の魅力体感ツアーの開催(4回 参加者数 155人) ・飛騨高山ブランド講演会、セミナー、研修会の開催(5回 参加者数 193人) ・メイド・バイ飛騨高山認証制度を開始し、18の地場産品を認証した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・インナーブランディング事業として、地域の魅力体感ツアーや高校生ワークショップ等を実施した。参加者に好評だったこともあり、評価の結果を踏まえて、関係部局と連携しながら、引き続き飛騨高山ブランド戦略の浸透に地道に取り組んでいくことが必要である。 ・飛騨高山産品のブランド力強化のための市補助制度のPRを広報や事業者団体との意見交換等を通じて行ったところ、補助金の活用件数は若干上昇したが、まだまだ活用状況は低い状況である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度のインナーブランディング事業の結果を踏まえ、引き続き関係部局と連携しながら、飛騨高山ブランド戦略の浸透に地道に取り組んでいく。 ・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用に伴い、各種支援制度の利用促進や飛騨高山のものづくりを発展させる施策の充実を図っていく。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・インナーブランディング事業の促進に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	インナーブランディング事業を増額

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	21550 飛騨高山ブランド戦略推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H31新規	<input type="checkbox"/> R2新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	企画部 ブランド戦略課
枝番・内容	1 インナーブランディングの推進		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R2拡充		款	2	総務費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2278
			<input type="checkbox"/> H30新規・拡充			目	15	ブランド戦略推進費	作成年月	R1.11

事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山ブランドコンセプト「飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物 それが『飛騨高山ブランド』に基づき、飛騨高山の有する様々な魅力や価値を市民や事業者とともに再評価し、磨き上げることで、飛騨高山に対する誇りの醸成や地域経済と地場産業の活性化を図る。	概要	・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用 ・地域の魅力体感ツアーの実施 ・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト ・飛騨高山ブランドフォーラムの実施 ・ものづくりのまち飛騨高山の発信
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	4,880
	繰越	
	補正等	108
	最終	4,988
決算額		4,460
対前年度増減額(決算)		3,811

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	4,530
主な経費	・飛騨高山ブランド研修会講師	
	・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用	
	・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト	
対前年度増減額(当初予算)		△ 350

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31進捗(Do-Check) R1.9時点 (千円)

予算額	当初	4,530
	繰越	
	補正等	
	最終	4,530
執行額		92
対前年度増減額(決算)		△ 4,368

R2当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	12,630
主な経費	・飛騨高山ブランドフォーラム等講師	
	・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用	
	・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト	
	・デジタルアーカイブ事業	
対前年度増減額(当初予算)		8,100

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績] ・飛騨高山ブランド講演会、セミナーの開催 市民、事業者、若年層向けにそれぞれの対象ごとの講演会・セミナーを実施した。 9/25「地産地消プレゼンテーション」参加者数 13人(市内飲食業者) 1/30「飛騨春慶」参加者数 60人(市民、事業者等) 3/19「飛騨一位一刀彫」40人(市民、事業者等) 10/23・26「飛騨高山ブランドについて」高校生とのワークショップ 参加者数 40人×2回 (飛騨高山高校ビジネス科)	
・地域の魅力体感ツアーの実施 地域のまちづくり協議会と連携し、ツアー内容の企画、運営を行っていただくことで、地域住民が自らの地域の魅力や価値を再発見し、地域資源の磨き上げに繋げていく。 4/22「朝日地域」参加者数 39人 8/2「清見地域」参加者数 40人 9/23「上宝地域」参加者数 37人 10/21「一之宮地域」参加者数 39人	
・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用 飛騨高山ブランドを構成する独自性、信頼性のある18の地場産品を認証し、認証した産品のPRを実施した。	
・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト 若者を中心とした飛騨高山のものづくりの担い手を対象に飛騨高山の文化や各種スキルに関する研修や異業種間交流を行い、飛騨の匠の伝統と精神の継承、新しいものづくりの機運の醸成を図った。 11/15/16 参加者数 10人 1/17-18 参加者数 24人 2/7・2/8 参加者数 26人	
次年度以降の考え方(担当課)	・好評であったツアーの横展開を図るとともに、講演会・セミナーの更なる充実を図る。 ・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用に伴い、飛騨高山のものづくりの継承発展に繋がる事業を検討していく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・飛騨高山ブランド研修会 飛騨高山のもつ魅力や価値を再認識し、磨き上げるために、市民向けの講演会や市外の有識者や市内の地場産業の担い手等による研修会を実施。また、市内高校と連携し、将来の飛騨高山を担う高校生等と飛騨高山ブランドについての研修会を行う。 ・飛騨高山ブランド写真コンテストの開催 若年層への飛騨高山ブランドの浸透を目的として、市内小中高校の児童・生徒が自分が伝えたい飛騨高山の様々な魅力を探し出し、その素材を市内外へ発信していく。 ・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用 飛騨高山ブランドを構成する独自性、信頼性のある地場産品を認証し、認証した産品を積極的にPRする。 ・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト 若者を中心とした飛騨高山のものづくりの担い手を対象に飛騨高山の文化や各種スキルに関する研修や異業種間交流を行い、飛騨の匠の伝統と精神の継承、新しいものづくりの機運の醸成を図る。	
[スケジュール]	

事業実績・評価等	
5/29・30 第3回 ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト実施 講師:山田遊 参加者:15名(第4回は11/7・8)	
8/5 飛騨高山ブランドフォーラム開催 講師:経済観光アドバイザー(吉澤・矢ヶ崎・高橋) 参加者:220名	
7月 飛騨高山ブランド写真コンテスト募集開始	
8月末 メイド・バイ飛騨高山認証制度 申請締切(審査 12月)	
次年度以降の考え方(担当課)	・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクトの市外への発展を図るとともに、講演会・セミナーの更なる充実を図る。 ・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用に伴い、飛騨高山のものづくりの継承発展に繋がる事業を検討していく。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・飛騨高山ブランドフォーラム等 飛騨高山のもつ魅力や価値を再認識し、磨き上げるために、市民向けの講演会や市外の有識者、市内の地場産業の担い手等によるセミナーを実施。 ・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用 飛騨高山ブランドを構成する独自性、信頼性のある地場産品を認証し、認証した産品を積極的にPRする。 ・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト 若者を中心とした飛騨高山のものづくりの担い手を対象に飛騨高山の文化や各種スキルに関する研修や異業種間交流を行い、飛騨の匠の伝統と精神の継承、新しいものづくりの機運の醸成を図る。 東京、高山の展示会等での実践。 ・デジタルアーカイブ事業 飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしや行事・風景・地域への想いなどを写真・映像・音声として記録し、活用する。 ・ものづくりを行う人材に焦点を当てたパンフレット作成	
[スケジュール]	

事業シート(令和2年度予算)

事業名	21555 飛騨高山応援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	1	総務管理費		根拠計画			
			目	15	ブランド戦略推進費					
担当課	ブランド戦略課	内線	2278							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客や移住者の増加及び地場産品の消費拡大等を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の増加を狙い、効果的な広告等を実施する。 ・観光や産品などの各種情報を提供し、会員による飛騨高山ブランドの発信に繋げる。 ・市内見学会や交流会を実施する。 ・外部人材の活用による飛騨高山ブランドの発信に繋げる。
----	-----------------------------	----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)	3,000	2,173	3,120			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	900	500	500			
一般財源	2,100	1,673	2,620			
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨高山「めでたの会」のPR	2,000	1,710	1,700		
	会員市内見学会、意見交換会	400	84	430		
	飛騨高山「めでたの会」会員交流会	600	379	490		
	飛騨高山アンバサダーの設置			500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	3,170
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減(d)-(c)
4,234	3,170	3,170	50
	100	100	△ 400
4,234	3,070	3,070	450
査定額	説明		
1,600	会員募集チラシ等		
420	市内見学会、意見交換会		
800	めでたの会交流会(東京、名古屋、大阪)		
350			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会員募集のためチラシ、フェイスブック広告等を実施 ・特別会員を対象とした市内見学会を2回実施 ・特別会員やサポート会員に施設優待券付きの名刺や会報誌等を配付 ・フェイスブックによる各種情報発信の実施 ・特別会員82名、サポート会員155名、一般会員25,000名 計25,237名
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用し高山の魅力を発信することで、会員数の増加を図った。 ・特別会員を対象に実施している市内見学会は、会員相互の親交を深めるとともに、地域の取り組みや課題を知ってもらい、情報発信や意見をいただく機会となっている。 ・会員からの意見を「めでたの会」の活動や市の施策などに活かすため、会員及び会員相互の交流を深めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、SNS等で市の魅力を発信し、会員の増加を図る。 ・方面別の交流会を開催し、会員同士の交流を深め市への思いを共有することで応援の機運を高める。また、市に対する思いや意見を広く聴き、市の施策へ繋げる。 ・飛騨高山を応援してくれる発信力のある人材を活用し、飛騨高山の魅力や価値の発信力を高める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度予算)

事業名	21570 移住促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・国内外の大学生などのUターン、高山市出身者のUターン、元気な熟年層(担い手・起業家候補)の移住促進などに取り組みます。 ・関係人口(高山市に関りを持ち、短時間でも移住する人口=大学生、企業インターンシップ、研究者、他)増加による地域活性化を目指します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	総務管理費	根拠計画					
			目	15	ブランド戦略推進費						
担当課	企画部 ブランド戦略課	内線	2278								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市住民の移住を促進し、都市住民と地域住民との交流の場を増加させ、移住者の知識、経験等を活かした新たな地域づくりによって地域力の向上を図る。	概要	・移住相談窓口の設置 ・助成事業(住宅支援、就農移住支援) ・効果的なPR活動を展開 ・ふるさと暮らし体験施設「秋神の家」の開設
----	-------------------------------------------------------------------------	----	---------------------------------------------------------------------------

総会計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
新規移住者数(年間)	327		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	19,231	15,225	19,504			
特定財源						
国費()						
県費(ふるさと暮らし・移住促進事業費等 1/3)	500	3,333	8,000			
その他(財産収入 ほか)	514	390	514			
一般財源	18,217	11,502	10,990			
個票枝番	主な事業内容					
	ふるさと体験住宅の活用	1,104	855	1,404		
	移住者の家賃、空き家の取得・改修に対する支援	18,027	14,193	18,000		
	飛騨地域3市1村連携による移住・定住促進					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		13,660
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減(d)-(c)	
18,424	13,660	13,660	△ 5,844	
4,583	2,000	2,000	△ 6,000	
514	514	514	0	
13,327	11,146	11,146	156	
査定額	説明			
1,310				
10,000				
2,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・移住相談会、セミナーでの移住相談の実施(名古屋2回、京都1回) ・飛騨高山ふるさと暮らし・移住促進事業補助金の交付(家賃補助20件、取得・改修12件) ・ふるさと体験施設「秋神の家」の利用(21世帯52人) ・移住者向け空き家バンクの活用(制約件数12件)
評価等	・移住者実績は327人となり昨年度より増加した。 ・ふるさと暮らし・移住促進事業補助金については年々利用者が増加し、多くの方にご利用いただいている。 ・Uターン者は昨年度よりも増加はしたものの、若者定住家賃補助金(商工課)の利用者が伸び悩んでおり、今後は若者(Uターン)を増やす取り組みも推進していく必要がある。 ・東京23区からの移住者補助金の申請がない状態であるため(全国でも数件程度)、対応策が必要。
次年度以降の考え方(担当課)	・補助制度のみではなく、民間事業者等と連携して、総合的な移住支援を実施できる仕組みづくりを検討していく。 ・関係部局と連携し、「関係人口」を意識した取り組みを進める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・ふるさと体験施設の管理に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定の 考え方	財務部査定のとおりに